



人吉一中 学校だより

# Asazakura

校訓

理想は高く  
心清らに

令和4年10月4日発行

## 本校の教育目標

### 自らに誇りを持ち、主体的に学び、考え、行動する生徒の育成

9月20日～22日にかけて2泊3日の修学旅行に行きまして。令和2年の2月ごろからコロナウイルスの感染が始まり、様々な学校行事が縮小や中止となっていきました。とりわけ、修学旅行はバスでの移動もあり、同じ部屋に寝泊まりすることもあり、実施になかなか踏み切れない状況でした。

今回の修学旅行も、2年生から2度延期して、3度目の計画で実施することができました。子どもたちはもちろん、保護者の方々にもいろいろな意味でご心配をおかけいたしました。皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

旅行中、生徒たちはそれぞれの見学場所で熱心に学ぶ姿が見られました。しかし、それ以上に、バスの中や見学中に楽しそうに話したり、笑い合っていたりする姿を見ると、実施できて本当によかったと心から思いました。

さて、10月に入りました。学校においては1年の中でも教育活動が充実する時です。本校は「熊本の学び研究指定校」に指定されていて、子どもたちの学びをどのようにデザインしていくかを研究しています。テーマは「**学びをたのしみ、自らを高め続ける児童生徒の育成**」です。

「**テストがあるから勉強しなきゃ**」とか「**受験があるから頑張らなきゃ**」という勉強も大事ですが、教科の内容そのものが持っている不思議さや面白さ、奥深さに触れさせ「**学んでたのしい!**」と少しでも感じてくれるような授業を目指しています。

## 育てたい力

先日校外学習で、子どもたちの様子を見ていた時のことです。男子生徒数人が集まって話しておりました。その中の一人が、近くにゴミが2つ3つ落ちているのに気がつきました。その生徒は「**ゴミぐらい拾わんば。**」と言いながらささっと拾い上げ1カ所に集めて片付けてくれました。

私は、その自然な動きに、驚いたというか、ぼーっと見ていたというか、あたりまえのこととして、その生徒がやってくれたので違和感なく受け止めていました。また、そこにいた他の数人も、その行為を普通に受け入れ、何か言うわけでもなく、自然に次の会話に移っていったのです。ずいぶん大人に見えました。

また、別の生徒は、活動中に具合が悪くなり、私も心配して声をかけたり、様子を見たりしていました。そして、後日、廊下でその子とすれ違おうと「**先生この前のご心配をおかけしてすみませんでした。**」とぺこりと頭を下げながら言ってくれました。こんなにきちんとお礼を、それも普通にさりげなく言えるなんて素晴らしいなあと思いました。

「ゴミを拾いましょう。」「お礼を言いましょう。」と、教えることはできますが、なかなか行動には移せないものです。それが普通にできる。こんな力をどうやって身に付けたのでしょうか。

たぶん、幼いころからのご家庭での関わりが一番で、加えて保育園や小・中学校の生活の中で、繰り返し学んで身に付いたものだと思います。このような力は、教えてすぐ結果が出るものではありません。遠い将来に向けて、育ちの遅い樹木の苗を植える気持ちで、じっくり育み続ける必要があるように思います。

# 一中ウオッチング



9月27日(火)に1年生が地域文化理解活動を行いました。この活動は、4つのコースに分かれて一中校区にあるお寺や神社、鉄道遺産などを巡ったり、きじ馬作りを体験したりして、地域についての理解を深めるために行うものです。今年度も多くのボランティアの方々と各施設の方々にご協力いただいで実施することができました。

今回の修学旅行では、九十九島水族館の見学と一緒に、海での体験活動が計画されていました。写真は、ヨットセーリングの体験をしているところです。この日は風が強く、小さな帆を少し張るだけで、風を受けて気持ちよくヨットが進んでくれました。海での経験が少ない子どもたちにとって、とても貴重な経験になったと思います。前後して、シーカヤックの体験も行われ、海を満喫する1日となりました。



10月4日と5日に2年生の職場体験学習を行います。この活動は総合的な学習の時間を活用して、市内の事業所にご協力をいただき、数名ずつに分かれて職業体験を行うものです。

上の写真は事前学習の様子です。これまでに生徒は職業について調べたり、事業所に電話し注意事項を確認したりと準備を進めてきています。今回の体験活動を通して、仕事について深く考えるきっかけになればと考えています。

9月28日(水)に、各学年において道徳科の研究授業を行いました。学年でそれぞれ1人の先生が授業を公開し、参観した先生方で授業研究会を行いました。1年部は松永先生、2年部は田代先生、3年部は平山先生が授業を公開しました。

どの授業でも子どもたちは真剣に考え、熱心に自分の考えをまとめたり、意見交換をしたりする姿があり、友達の様々な見方に気づいていたようです。今後も授業研究を通して、授業力の向上に努めたいと思います。